

事業者名:吉野宇陀山林直売エコ木造住宅協同組合

展示住宅の建設地住所:奈良県宇陀市大宇陀拾生719-1

事業者連絡先:0745-83-0036

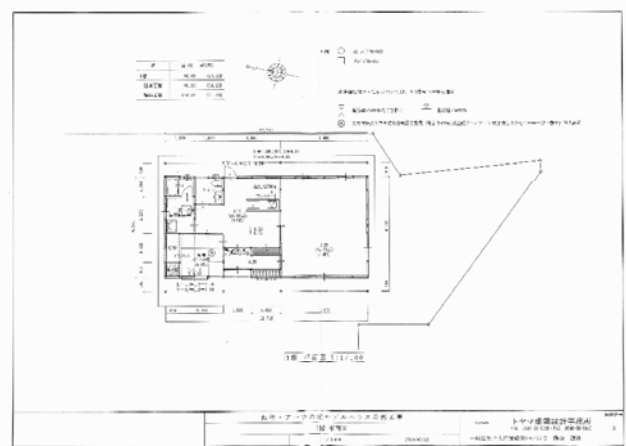
使用した地域材の名称:奈良県地域材認証

建設工事費(主体工事費):18,779万円(うち補助金400万円)

地域材の使用箇所:土台、火打ち土台、大引き、床梁、胴差、頭継ぎ、火打ち梁、管柱、吊束、軒桁、母屋、小屋束、棟木、間柱、筋かい、窓台、マグサ、ラス板、垂木、野地板、小屋筋カ、野縁、床下地板、胴縁、瓦棧、外壁下地材、天井上材、壁上材、巾木、面戸板、畳寄せ、廻り縁、敷居、鴨居、トイレ腰板、押入材、玄関造作材、壁内補強材、建具材。



<展示住宅の平面図>



平屋造り

【2階】



<展示住宅の仕様等>

- ①床面積:(1階)80.32㎡(2階)0㎡(平屋造り)
- ②外観:ラスモルタル外壁(ヨロイ仕立)
- ③構造(部位毎の建材、寸法等):土台(桧)120×120、大引き(桧)105×105、床梁・胴差(杉)120×300~120、管柱(桧)120×120、軒桁(杉)120×240、母屋・棟木120×150、小屋束120×120、軒桁支柱Φ120。
- ④断熱性能:床・床トップ剛床80mm次世代省エネルギー基準。熱抵抗値(㎡・KW)2.2
壁・天井 マグオランジュ、105mm次世代省エネ基準住宅対応、熱抵抗値(㎡・KW)2.8
- ⑤展示期間:平成23年3月~平成30年3月



<展示住宅の特徴>

- ①当展示住宅の立地が年間10万人の来訪があるといわれる「宇陀路大宇陀道の駅」(宇陀市営)の前になります。またこの道の駅と重要建造物群保存地区に選定された松山地区との間にもなります。双方とも徒歩1分程度の近距離にあり、「まちおこし」にも一役買っております。
- ②使用部材は全て同一地域(奈良県吉野郡川上村東川カゴ松)産であり、製材・乾燥・加工も当組合員である地域の業者に委ねています。
- ③伝統的な木造軸組み工法による平屋造りで、部材そのもの、あるいは部材の使用方法にもこだわっています。たとえば野地板には吉野杉の22mmという厚さ、垂木は吉野杉の6m×7.5cm×4.5cmの1本ものを82本使用。床板の三重張りなどにより、構造材12.4413㎡、造作仕上材は13.5273㎡と坪当たり1.06694㎡の使用となります。

<平成22年度の成果>

- ①来場者数(平成22年12月~平成23年3月): 88 名
- ②来場者の主な声:
 -木造住宅の構造の頑丈さにびっくりした。
 -木をふんだんに使った内装の美しさに感動した。
 -今まで本格的な木造住宅は効果でとても手が出ないと思っていたが、木造住宅が山林直売とのことでリーズナブルな価格に感銘した。